

# 宮城県登米地域

重点プロジェクト① 持続可能な森林資源の育成と認証材の増産及び安定供給

## サプライチェーンを活かした、建築物への木材供給

～ 需要は自らつくるもの・JAみやぎ登米農業協同組合本店・なかだ支店新築工事を例として～

### 現状と課題

**森林整備と素材生産を拡大していくには、どのようにしたらよいか？**

平成28年にFSC森林認証を取得して以降、サプライチェーンによる安定供給体制の構築を行ってきた。

#### 流通の一元管理

- ・ 協定締結による安定した需要＝計画的な森林整備
- ・ 双方合意による販売価格の決定＝安定した価格

石巻合板工業との取引(杉B材の供給体制の構築)

- ・ 素材全体の約7割の安定供給先を確保

次のステップとして

**潜在的な認証材需要にどのように応えていくか？**

### 取組概要

**だれかが使ってくれるだろう、という考えからの脱却**

**需要は自らつくるもの = 流通コーディネーター**

- 外部：商社等と連携した製品の開発販売、協業体制
  - 内部：登米町森林組合＝加工部門に建築士を配置
- = ワンチャンネル・サポート**

**山と需要を結ぶ“ハブ”となる人**

### 取組結果(事例)

JAみやぎ登米農業協同組合本店・なかだ支店新築工事

- ・ 延べ床面積 2,650m<sup>2</sup>、木造2階建、令和5年3月竣工
- ・ 地域材を積極的に活用するため、**材工分離発注**を提案
- ・ JAと森林管理協議会にて**木材供給に関する基本協定**を締結
- ・ 登米町森林組合＝丸太集材～製材、乾燥、プレカットまでを受注
- ・ FSC認証合板を使用＝石巻合板工業からの供給＝双方向サプライチェーン(互いに供給、使用する関係)
- ・ 構造材 420m<sup>3</sup>、羽柄材 150m<sup>3</sup>＝丸太換算A材 1,200m<sup>3</sup>
- ・ 認証合板 7,000枚 使用

#### 材工分離発注＋ワンチャンネルサポート＋流通一元管理のメリット

- ・ 材料準備期間の最大化・地域産材の最大活用
- ・ 建築の自由度向上・施主コスト低減・山元還元

### 森林認証の定義～FM認証とCoC認証

適正に管理された認証森林から生産される木材等を生産・流通・加工工程でラベルを付すなどして分別し、表示管理することにより、消費者の選択的な購入を通して持続的な森林経営を支援する仕組み



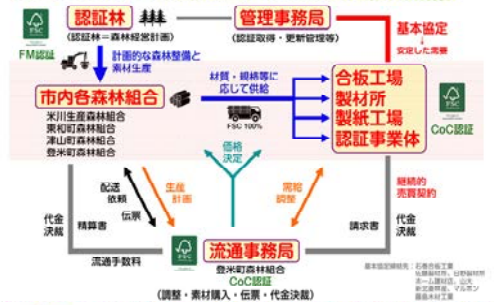
#### FM認証

森林管理認証  
FSCの理念に沿った森林管理をしていること (Forest Management)

#### CoC認証

加工・流通過程認証  
FSC認証の木材が、そうでない木材と分別されて加工流通されていること (Chain of Custody)

### 流通の一元管理



### 流通の一元管理～石巻合板工業との取引

#### 石巻合板工業

CoC認証取得 (2012～13年)  
FSC, PEFC, SGEC

国際的に適法伐採の規制が強化される中、いつ森林認証の時代が来ても良いようにとの経営判断

- ・ 認証合板の取扱いも開始
- ・ 国産材使用割合の増加

- ・ 震災前7割 → 9割以上
- ・ 山から木を伐採してくれるサポーターが森林組合だという意識
- ・ お互いがサポーター
- ・ 商談会って一緒に課題を解決する関係

- ・ 基本的協定書
- ・ FSC認証基準に基づいた生産
- ・ 数量計画10,000m<sup>3</sup>/年
- ・ 四半期毎の納材予定の提示

- ・ 取引の状況
- ・ 11,400m<sup>3</sup>(R1)、9,700m<sup>3</sup>(R2)
- ・ 継続的売買基本契約書
- ・ 支払い条件等

計画的な森林整備・素材生産が可能になった

### 認証材の需要はあるが…

- 国内でのCoC認証取得件数の増加
- 但し、山元の製材所、木工所はどうか？
- 取得をしたものの取扱量がない、CoC維持の手間や費用負担
- 山元ではCoC認証を継続出来ていない
- 肌感覚として、需要は大きい(特に広葉樹)
- 探していました・認証材って手に入るんですね＝窓口がわからない

山側と需要側のミスマッチ にならなければ？

- サプライチェーンを意識する
- ワンチャンネル・サポート (この人に相談すれば大丈夫といえる人)
- 提案力 (販売ツール、流通コーディネーター)
- 使いやすいカタチ (製材寸法、乾燥)
- まとまった量 (認証材があるだけではだめ＝出材能力、協業体制)

山側の努力が必要 (待っていても需要はこない)

**【担当】**  
登米市森林管理協議会 FM認証材流通事務局  
竹中 雅治(登米町森林組合)

**【連絡先】**  
メール: info@forest100.jp  
電話: 0220-52-2075

